

まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：サウンド&ミュージック クリエーション

〒216 川崎市宮前区鷺沼1-11-14パレスビル2F TEL044-855-0111 FAX044-788-1727

今年も早、四月となり、桜の美しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。常日頃から皆様には、御支援頂き、元気に演奏活動を続けている事を感じ致しております。今年には私にとってヴァイオリンを始めて三十年という節目の年であり、更に精進したいと思う大切な年でもあります。この四月からは、マネージメントもジャパンアーツに移籍し、新しい演奏活動が展



いと考えております。どなたでも御入会できます。
 これからも一つ一つのコンサートを大切に思い、息の長い演奏生活を送りたいと思います。どうぞよろしくお願

木野雅之

開される事となるでしょう。

というわけで、この度、私を支援して頂く会「まさゆき倶楽部」が発足致しました。この会は特別、難しい事は全くなく、今までと同様、私の演奏活動を暖かく、且、厳しく応援して頂くための会で、皆様との楽しい交流の場にもしていき

旅芸人食日記

木野雅之

昔、南イタリアのバルレッタという町(かの有名な指揮者、カルロ・マリア・ジュリーニの出身地)へコンサートに行った時の事、夜遅く十一時頃その駅へ降り立って、さあホテルへタクシーで行こうとする運転手が「もうそのホテルはないよ！」との事、私はナポリからの数時間の汽車旅の疲れもあつて、もうほとんどねぼけていたのだがその一言でいっぺんに目が覚めてしまった。主催者にその時間では連絡出来るはずもなく、仕方がないので「もう今夜はどこでも良いから寝れる所へ連れて行つてくれ」と頼んで、あるペンションに一泊した。翌朝、一番に主催者に電話したのだが、全く連絡取れず、夕方になって警察の力も借りてやっと主催者に会えたところコンサートは無いと言つた。そんな馬鹿なことはないと思つたが、ないものは仕方がなく、そのときは出演料の半分を、もらい、いずれ又、コンサートを開いてもらうという事で、一応話をついた

のであつた。さて前置きが長くなつたがこの様に南イタリアでは、いいかげんな事、我々の常識ではどうてい考えられないような事がそのまま、まかり通る様な所ではあるが、人の良さと食べ物のおいしさがそれらを十分に許してしまう程すばらしく、私はその後何度となく南を訪れたが大好きな土地である。

ナポリに始めて行つた時食べたのが何よりも大好きな揚げ物、アランチーニというパスタのだんご。これは、ちょうどライスコロツケのような感じでパスタの代わりにリゾットの事もあり中にモツツアレツラチーズが入っている。けつこうポリユームがありこれを二個程食べれば私のような巨腹でも十分満たされる量である。かもしれない!あとナポリで何といてもおいしいのは完熟のトマトをふんだんに使つた有名なポモドーロソースのスパゲッティ。これこそ本場のイタリアの味の原点だ!なんてかつてに解釈してしまつたが、レストランのおやじが「そんなにうまいならもつと食え!」といつてどんどん私の皿に盛つてしまつたのにはさすがに

参つた。他の物も食べたいのにと思つていたら「次は何にする?」と…もうそんなにいくら何でも入らないと思わせる程の量だつた記憶である。シチリア島では、まぐろの卵のスパゲッティが有名である。もともとはサルデニヤ島の料理であるが、シチリアにもこれはどこにでもありちよつど日本のたらこスパゲッティのような感じであり、松の実を入れて、上からたつぷりのオリブ油をかけて食べる。実にあつさりしていておいしい。これは、その後、乾燥したまぐろの卵を持つて帰つて家で作つてみたがうまくいかず、あまりおいしくできなかった事があつた。いったい何が違うのだろうか。その他、バリー地方の菜っ葉のニョッキ、ラメツィア地方の巨大マカロニ、フジエリの卵とじ、いかの丸揚げ、生うに等、日本人の口におおいに合う素朴な料理が多く、皆さんにも一度は訪れて頂きたいと思ひます。私もしばらく行つていないので近いうち又行こうと思つています。

(「りべーろとまり村 第十五号」より)

リツチとの出会い

木野雅之

一九八二年十月のその日、それは運命的な出会いであり、私のその後の大きな人生の出発点となつた。

幼い頃からレコードや本では知つていた世紀の巨匠、ルツジェーロ・リツチ(一九一八年サンフランシスコ生まれ)。彼のリサイクルがロンドンで行なわれることになり、当時まだ十九歳の私は、それはもう例えようがないほど興奮して出かけて行つたのであつた。

二日間でバガニーニと、バッハの作品全曲演奏という、ヴァイオリンリストにとつては、技術の総決算のようなプログラムなのだ。その演奏を聴いて、彼の独特のヴィブラートからかもし出されるイタリアンベルカントの音、それまで聴いたことのなかつた世界の超一流の音にショックを受け、是非ともその秘密をさぐりたいと思ひ、楽屋を訪ねて行つたのであつた。

その時は二、三言葉を交わしただけで終わり、翌年の三月、彼の

ブラームスの協奏曲のコンサートで、初めて彼のマスタークラスへの招待を受けた。

彼のマスタークラスは、イギリスの片田舎オールドバラという美しい海岸沿いの町で行なわれ、二十人程の参加者のほとんどがイギリス人であったが、中には数人、外国人もいた。私はその時、レッスンでヴェニエニアフスキーの「ファウスト幻想曲」を弾いた。これがことのほか先生に気に入られ、クラスでのレッスンのほかにも、彼の滞在先のアパートに個人的に招

待してくれたのである。

その時、今は亡き、フリーベルマン、エルマン、クライスラー、カンポリー、クーレンカンフ、ミルシテインなど、ヴァイオリンの巨匠たちの思い出話を楽しく聞かせてもらった。彼はとても気さくであり、ヴァイオリンの事となると、それこそ水を得た魚のようにというか、新しいおもちゃに夢中の子供のようにというか、まったく話が止まらない。そんな彼と知り合って今年で十四年にもなるが、その間の思い出

話は、ここに書ききれない程たくさんあり、それは、私にとつての一生の宝である。

この度の大怪我(注)で、演奏会も予定していた日本にやっつてこれなくなつたのは、非常に残念で心配なことだ。でも、必ず演奏活動に復帰し、世界中の多くの人に感動を与え続けて欲しいと、毎日切に願っているところである。(注)十二月上旬、日本に来る準備中、ザルツブルグの自宅で階段から落ち怪我をされた)
(「市民と音楽 第一三九号」より)

優れた現代音楽とその演奏家たちを次々と世に送り出しているVMMレーベルで、この度、日本人による作曲、演奏の録音が発表された。

〈時の華〉—ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための—(一九九五)は、初演時のライヴ録音。三者の華やかな掛け合いが楽しめる作品である。付点音符のアクセントが効いた部分と、弦楽器を歌わせた

CD批評

VMM2021

「風の端」

十河陽一の音楽

湯浅玲子

〔音楽の世界

一九九七年二月号〕より

りピアノの高音部を聴かせる部分の二部形式になっている。ヴァイオリン(木野雅之)と、チェロ(河野文昭)がソフトな音色でピアノ・パートと競り合わずに美しく中和している。

〈光の在り処〉—ヴァイオリンとピアノのための—(一九九五)は、ライヴ録音によるもの。ヴァイオリン(木野雅之)が荒涼として厳しい旋律を奏する第一楽章、様々な光線が入り乱れる第二楽章から成っている。

木野雅之 白馬ミュージックセミナー

—ヴァイオリン演奏における解釈と

ヴィルトゥオーゼティーについてのマスタークラス—

期 間:1997年8月16日(土)~22日(金) 会 場:ペンション ミーティア

受講料:75,000円(レッスン3回、朝・夕食、宿泊を含む) 定 員:20名

※短期滞在及び聴講生の参加も可(詳しくはお問い合わせください)

●お申し込み・お問い合わせ●

サウンド&ミュージック クリエーション TEL.044-855-0111 FAX.044-788-1727

- 4・6(日)室内楽コンサート(平塚ラスカホール) #伊藤恵(ピアノ)、松実健太(ヴィオラ)北本秀樹(チェロ)、他
- 4・10(木)、11(金)第489回日本フィル定期(サントリーホール) #ルイ・フレモー(指揮)、練木繁夫(ピアノ) bオルガン(サン・サンス)、左手の為の協奏曲(ラヴェル)、他
- 5・7(水)リサイタル(北海道奈井江町文化ホール) #谷本聡子(ピアノ) b雨の唄(ブラームス)、他
- 5・8(木)リサイタル(山形市文翔館) #高内恭子(ピアノ) b春(ベートーヴェン)、他
- 5・9(金)同右(山形県山辺公民館)
- 5・11(日)定期演奏会(武蔵野市文化会館) #荒谷俊二(指揮)、オーケストラハーモニカ bヴァイオリン協奏曲第一番(ブルッフ)
- 5・15(木)、16(金)第490回日本フィル定期(サントリーホール) #ジャン・ルネ(指揮) b幻想交響曲(ベルリオーズ)、他
- 5・17(土)無伴奏リサイタル(世田谷楽友協会、まかギヤラリー) b無伴奏ソナタ(バルトーク)、他
- 5・25(日)第223回日本フィル名曲コンサート(サントリーホール) #飯森範親(指揮) bベルシヤの市場にて

(ケテルビー)、他

- 5・30(金)旅芸人シリーズ・スペイン編(品川教会グロリアアチャベル)#カルメンアルヴァレス(ピアノ) bチゴインエルワイゼン(サラサーテ)、他
- 5・31(土)同右(兵庫県加古川市・リパティカこがわ)
- 6・2(月)同右(愛知県稲沢市・カンマーザール)
- 6・3(火)リサイタル(東京駅コン) #カルメンアルヴァレス(ピアノ) bチゴ
- 7・2(水)同右(広島県福山県民文化会館)
- 7・6(日)室内楽コンサート(平塚美術館) #原田節(オンドマルトノ)、他
- 7・10(木)、11(金)第492回日本フィル定期(サントリーホール) #広上淳一(指揮) b交響曲第二番(シューマン)、他
- 7・18(金)リサイタル(四日市第一楽器ミュージック) #北住淳(ピアノ) b

木野雅之平成九年度上半期 演奏予定

(#・共演者 b・曲目)

- イネルワイゼン・カルメン幻想曲(サラサーテ)、他
- 6・11(水)リサイタル(札幌、ルーテルホール) #谷本聡子(ピアノ) bヴァイオリンソナタ(レスピーギ)、他
- 6・15(日)特別演奏会(秋田アトリオンホール) #長明和昌(チェロ)、秋田ユースオーケストラ、他 bミュージズと詩人(サン・サンス)
- 7・1(火)リサイタル(山口県石国市民会館) #村上弦一郎(ピアノ) b
- 8・28(木)日本フィルコンサート(東京国立フォーラム) #藤岡幸夫(指揮)、他 bタンゴ(ピアソラ)、他
- 8・30(土)日本フィル第226回名曲コンサート(サントリーホール) #前橋汀子(ヴァイオリン)、他 bヴァイオリン協奏曲(メンデルスゾーン)、他
- 9・5(金)、6(土)サイトウキネンオーケストラ(松本) #ケント・ナガノ

詩曲(シヨソン)

(指揮)、他 b未定

- 9・12(金)日本フィル二十世紀の音楽(サントリーホール) #マルチェロ・ヴィオッティ(指揮)、他 b五声の協奏曲(レスピーギ)、他
- 9・13(土)室内楽コンサート(東京電力千葉テアコ) #バストラレートリオ b未定
- 9・18(木)、19(金)日本フィル第493回定期(サントリーホール) #マルチェロ・ヴィオッティ(指揮) b愛の妙薬(ドニゼッティ)
- 9・20(土)室内楽コンサート(四日市第一楽器ミュージック) #小川剛一郎(チェロ)北住淳(ピアノ) b未定
- 9・24(水)日本フィルコンサート(札幌キタラホール) #井上圭子(オルガン)、他 bトッカータとフーガ(バッハ)、他
- 9・25(木)日本フィルコンサート(旭川文化会館) #野原みどり(ピアノ) bピアノ協奏曲第一番(チャイコフスキ)、他
- 9・26(金)同右(苫小牧市民会館)
- 9・27(土)同右(幕別町100年記念ホール)
- 9・29(月)同右(室蘭市民文化センター)
- 9・30(火)同右(静内文化センター)